

発 言 通 告 書

令和2年2月26日

松山市議会議長 清水宣郎 殿

松山市議会議員 大塚啓史

次のとおり通告します。

発言順位	3	受領日時	2月 26日 午後 1時 0分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式		発言時間	約 30 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長	・公営企業管理者

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	就職氷河期世代の就労支援について	(1)本市の就職氷河期世代の現状について また、その現状をどのように認識しているのか。 (2)本市職員としての採用や、企業での採用を促進するため、関係団体との連携による支援体制を構築することについて
2	音楽の普及発展を目指すことについて	(1)公共施設の空きスペース等にストリートピアノを設置してはどうか。 また、駅や商業施設への設置に対して支援をしてはどうか。 (2)楽器寄附ふるさと納税制度の導入について
3	災害発生時等の情報共有について	(1)松山市総合防災情報システムの現在までの進捗状況及び今後のスケジュールについて (2)内閣府の基盤的防災情報流通ネットワークの情報を共有し、活用できるようにしてはどうか。 (3)指定避難所になっている公共施設のホームページのクラウド化など、災害時に迅速に情報を収集し、リアルタイムで関係機関と共有するためのシステムを構築してはどうか。 (4)スマートフォン等を活用し、災害時応援協定を結んでいる地域の事業所や民間団体と情報を共有するシステムを導入してはどうか。
4	消防行政について	(1)松山圏域消防指令共同運用基礎調査事業の概要及び今後の共同運用までのスケジュールについて また、どのような効果を期待するのか。 (2)消防指令共同運用での職員交流や受け入れについて

